

deldotvs

Visual Studio 2017/2019/2022 専用 .vs フォルダ再帰的削除ツール

Version 1.0

操作説明書

```
usage : deldotvs.exe
VS++ project temporary .vs dir remover!!!
$>deldotvs [delete root path] [Enter]
$>deldotvs [.% | ./] [Enter]

#####
■■■ Important: deldotvs recursively searches all folders under the specified
■■■ root path and continues deleting the .vs folder. We always recommend backing up
■■■ the original project file before execution.

■ Caution!!! Be sure to back up the .vs project
  to be deleted before executing this command.
■ Be sure to set Release/Debug x86/x64 when reloading the project.
#####
Copyright(c) QUIZ LAB LLC. tokyo.jp 2025
(Q)uantum entanglement (U)nlimited (I)psilon (Z)ero
deldotvs.exe Version 1.0.0.1 2025/03/10 17:07:18:0214
```

QUIZ LAB LLC. 2025

2025/03/14

Document Version 1.0

目次

1.	deldotvs について.....	2
1.1.	deldotvs の概要.....	2
1.2.	.vs を削除することによる副作用.....	2
1.3.	対応 OS.....	2
1.4.	ライセンスフリー	2
1.5.	使いやすいインターフェイス.....	3
1.6.	オプション -b	3
1.7.	その他の機能	3
2.	動作仕様	4
3.	著作権およびライセンス	4
4.	再配布について.....	4
5.	バグ Fix およびメンテナンスについて.....	4
6.	サンプルプロジェクトによる練習.....	5

1. deldotvs について

1.1. deldotvs の概要

deldotvs.exe は Visual Studio C/C++ 開発時のテンポラリ環境ファイルを削除するユーティリティです。

削除対象になるディレクトリは ソリューション直下の **.vs** フォルダです。

何故削除するかは、.vs のサイズが巨大なためソースを移動する際にサイズを圧縮するためです。

たとえば 10G のプロジェクト群を deldotvs することで 350M 程度まで圧縮する事が可能です。

- ・バックアップをした 20G とかのプロジェクトのサイズを縮小して保存することができます
- ・プロジェクトファイルを持ち運ぶ際にサイズを縮小して取り扱いを軽くすることができます

1.2. .vs を削除することによる副作用

.vs フォルダを削除すると、そのプロジェクトを再度開くときに、Release/Debug, x86/x64 の定義が未定になります。

削除前のプロジェクトパラメータは記憶しておく必要がございます。また .vs フォルダには基本ソースプログラム、インクルードファイルは含んでいませんのでソースを消失する事はありません。(ユーザが.vs にあえて保存した場合は除く)

本ツールは「**大変危険なツールです**」本ツールを利用する場合のお約束ですが、必ずオリジナルプロジェクトソースは使わないようにしてください。オリジナルプロジェクト群を別の安全な場所にコピーし、コピー複製したプロジェクトフォルダを対象に deldotvs を起動してください。

作業前にオリジナルのファイル群は何重にもバックアップを取っておくことを推奨します。

万が一、手順を守らずオリジナルプロジェクトを消失しても一切責任は持てません。最初はサンプルプロジェクトを安全なリムーバブルディスク等にて新規に作成し、そのプロジェクトの .vs 削除状況をよく確認、テストを繰り返してからご利用される事を強く推奨します。

また、プロジェクト内のフォルダ名やファイル名は日本語や空白を含むフォルダ名を想定しておりません。プロジェクト内のパス、フォルダ、ファイル名群は空白を含まない ASCII 文字による名前付けに統一してご利用ください。

1.3. 対応 OS

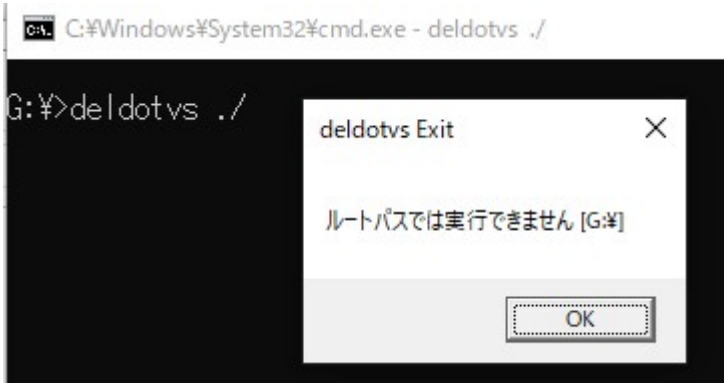
Windows 10, Windows 11 に対応しております。Visual C++ x64 Win64 API にて開発されております。結果オーバーヘッドの少ない快適な起動を実現しています。利用メモリも少なく、起動時で 2M バイト程度です。プロセス関連を起動して 12M バイト程度の利用量となります。

1.4. ライセンスフリー

ライセンスフリーです。企業の営利目的の開発でもフリーでご利用可能です。deldotvs を使い、Visual Studio での C/C++ 開発のお供にしてください。

1.5. 使いやすいインターフェイス

本ツールはルートドライブ位置(C:¥,D:¥とかです)では安全性担保のため実行できません。必ずサブフォルダをカレントパス位置として実行してください。



その他、そもそもの機能も少ないし、オプションも少ないのでたいへんシンプルな操作性です

1.6. オプション -b

deldotvs -b .¥ [Enter] -b オプションは「**さらに危険なオプションです**」

VC++ x64/release 内のバイナリ.exe

ソリューション/プロジェクト/プロジェクト/x64 フォルダ .obj 類の削除

同 x86 .obj 類の削除を実行します。

この場合、作成された.exe が再ビルドできないソース状態だと .exe を取り戻す事ができなくなります。

(ソースの問題を修正すれば良いのですが、これが不可能な場合だと取り戻せません)

本オプションは注意して取り扱ってください。一度テンポラリにコピーしたプロジェクトに実行し、各ソリューションを開いて副作用が出ないかよく確認後に正式に実行されることを推奨します。

1.7. その他の機能

とくにありません

2. 動作仕様

No.	仕様	説明
1	メモリ要件	最低 10M バイト
2	対応 OS	Windows10 Pro, Windows11 Pro
3	インターフェイス仕様	コンソールコマンドラインアプリケーション
4	実行ファイル名	deldotvs.exe
5	ビルドスタイル	Windows x64 SDK スタイルビルド 共有 MFCxx.DLL 不要
6	ライセンス	フリーウェア

3. 著作権およびライセンス

著作権は QUIZ LAB 合同会社が所有します。個人、法人にかかわらず制限無しで利用可能です。ただし、本ソフトウェアを利用した結果のいかなる不具合、不利益が発生しても弊社は一切の保証および保障は行いません。利用判断はユーザに委ねられます。特に本ツールはソースプロジェクトに対するテンポラリ・バイナリファイル削除を実行するツールです。慎重にご利用される事を願います。

4. 再配布について

再配布は禁止されております。新しいバージョン等が必要となった際のダウンロードは弊社サイトまたはベクターサイトから行って下さい。

2025.03.14 時点で弊社サイトは準備中です。サイトが出来るまでの連絡は netbsdmania@gmail.com までお送りください。

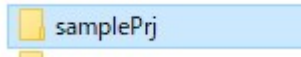
ただし迅速に対応できるかのお約束はできかねます。

ベクターサイト URL <https://www.vector.co.jp/>

5. バグ Fix およびメンテナンスについて

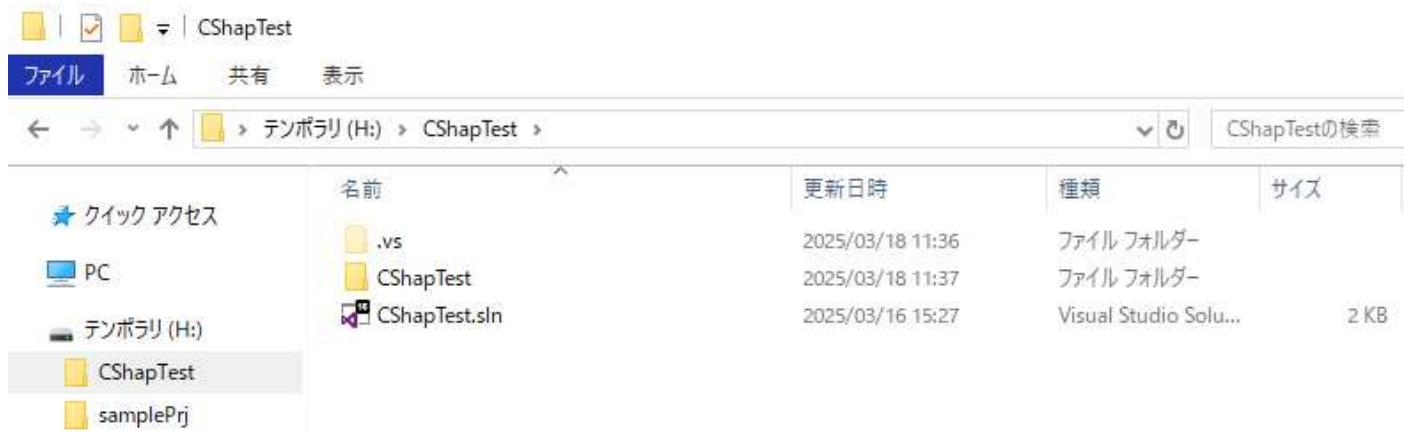
バグの報告があった場合、前向きに対応していく予定です。メンテナンスも 2 年単位で行い、継続のアナウンスもそのタイミングで行う予定です。使い勝手のご意見など頂ければありがたいです。

6. サンプルプロジェクトによる練習

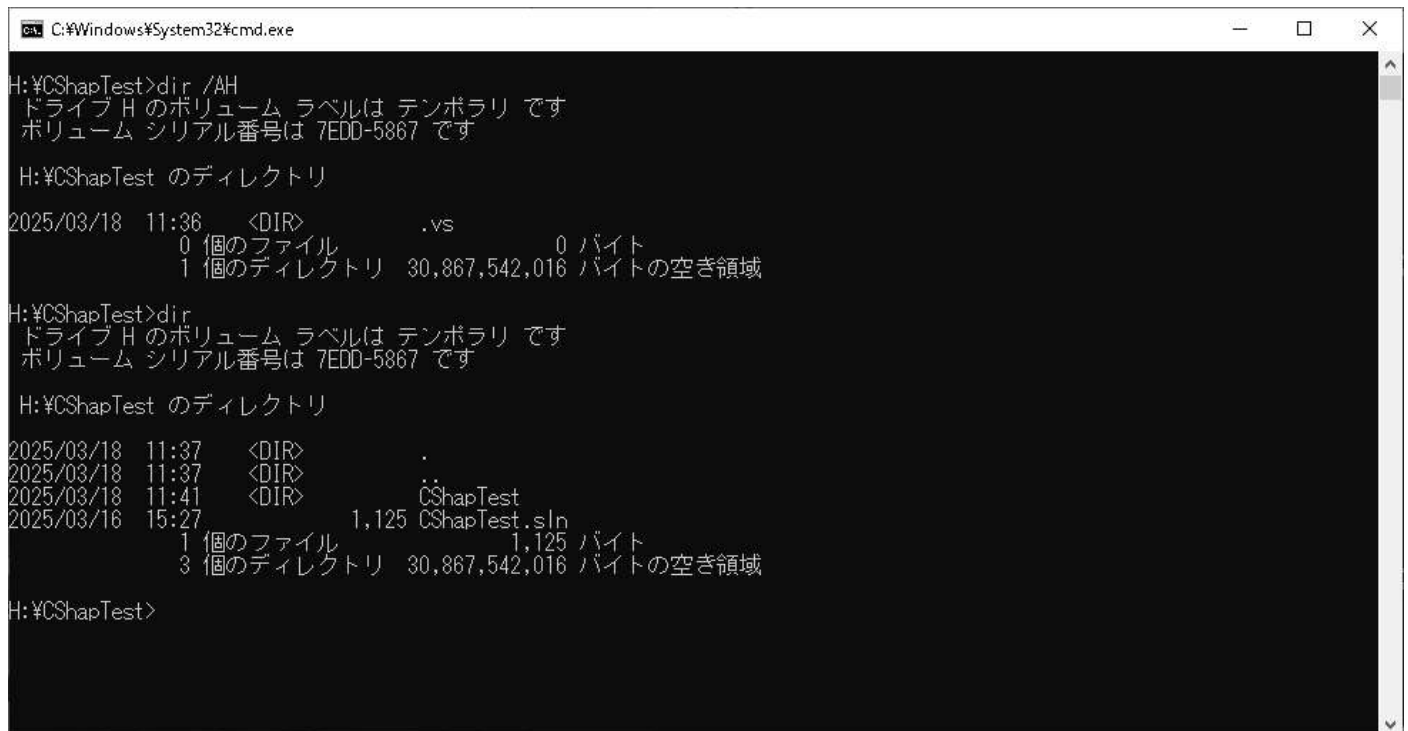


samplePrj 内に配置された CShapTest プロジェクトを安全な場所(現在のプロジェクトが置かれているディスク以外がのぞましい) にコピーします。ここでは リムーバブルディスクの H: に移動します

CShapTest を開いたところ .vs フォルダが見つかりました。サイズは 約 774KB です。ユーザの設定により、explorer で隠しファイルが見えないかもしれません。その場合はシステム-詳細設定で隠しファイルを表示するに変更してください。(C++プロジェクトですと 90M バイト→1.7M バイトまで小さくなります、配布の都合上 C++プロジェクトは採用できませんでした)



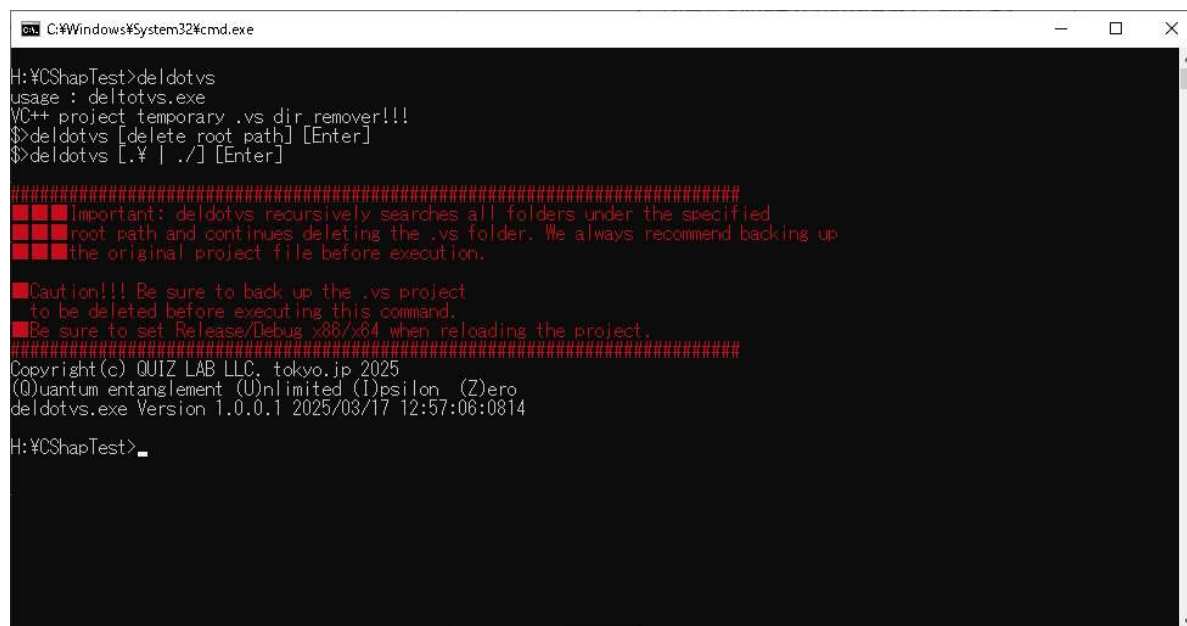
今開いている場所で cmd.exe を起動します (deldotvs.exe はインストール文書の方法でインストール済みの前提です)



.vs は隠しファイルなので dir /AH で表示されます、その他は dir で表示されます。

deldotvs [Enter]します

注意事項と基本的な使い方が表示されます



```
C:\Windows\System32\cmd.exe
H:\CShapTest>deldotvs
usage : deldotvs.exe
VC++ project temporary .vs dir remover!!!
$>deldotvs [delete root path] [Enter]
$>deldotvs [.% | ./] [Enter]

#####
■■■■ Important: deldotvs recursively searches all folders under the specified
■■■■ root path and continues deleting the .vs folder. We always recommend backing up
■■■■ the original project file before execution.

■■ Caution!!! Be sure to back up the .vs project
■■ to be deleted before executing this command.
■■ Be sure to set Release/Debug x86/x64 when reloading the project.
#####
Copyright(c) QUIZ LAB LLC. tokyo.jp 2025
(Q)uantum entanglement (U)nlimited (I)psilon (Z)ero
deldotvs.exe Version 1.0.0.1 2025/03/17 12:57:06:0814
H:\CShapTest>_
```

削除実行します、パスが安全な場所で間違いないかよく確認します。

(ここでは安全な場所の H:¥ CShapTest > がカレント位置になっています)

補足 バッチなどでバックアップ先のプロジェクトを指定する事も可能です。

例 \$>deldotvs -s h:¥CShapTest

この場合、エラーまたは確認ダイアログが不要になります。 -s オプションを付与してください。

最初は必ず カレント位置から、現在のプロンプト位置が安全な場所かよく確認して

\$>deldotvs .% でコマンドを投入することを推奨します。

うっかりパスをオリジナルプロジェクトフォルダに指定するとオリジナルの.vs が全て削除されてしまいます。

くれぐれも注意深く、ダミープロジェクトでよくテストしてバッチをリリースするようにしてください。

実行コマンドを投入します

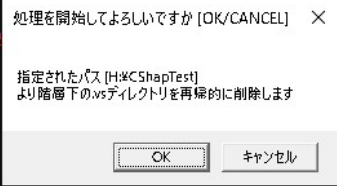
deldotvs .% [Enter]

```
C:\Windows\System32\cmd.exe - deldotvs .¥

H:\¥CShapTest>deldotvs
usage : deldotvs.exe
VC++ project temporary .vs dir remover!!!
$>deldotvs [delete root path] [Enter]
$>deldotvs [.¥ | ./] [Enter]

#####
■■■■ Important: deldotvs recursively searches all folders under the specified
■■■■ root path and continues deleting the .vs folder. We always recommend backing up
■■■■ the original project file before execution.
■■■■
■■ Caution!!! Be sure to back up the .vs project
■■ to be deleted before executing this command.
■■ Be sure to set Release/Debug x86/x64 when reloading the project.
■■■■
Copyright(c) QUIZ LAB LLC, tokyo.jp 2025
(U)antum entanglement (U)nlimited (I)psilon (Z)ero
deldotvs.exe Version 1.0.0.1 2025/03/17 12:57:06:0814

H:\¥CShapTest>deldotvs .¥
```

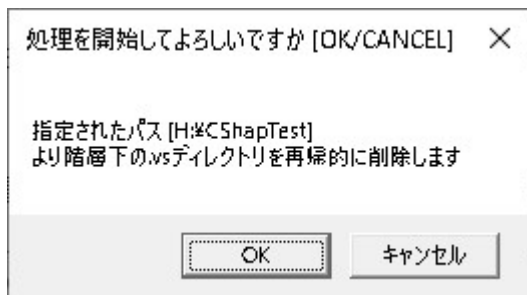


deldotvs はカレントの位置から配下の複数のプロジェクトの .vs フォルダを再帰的に削除しつづけます

複数のプロジェクトを削除したくない場合は今回のように単一プロジェクトを作業場所にコピーしてから実行してください。

単一プロジェクトの場合はエクスプローラで .vs を削除すれば済む話なのであまり意味はないかと思いますが、2,3 のプロジェクトがまとまれば楽に削除することが可能です。

実行すると確認ダイアログボックスが表示されます。 キャンセルを選択すればなんにもせずに終了できます。



注. 確認ダイアログを表示したくない場合は、コマンドラインオプションに -s オプションを追加してください

なぜ再帰的に削除するか理由ですが、単一プロジェクトの .vs を削除するだけならばエクスプローラで削除すれば良いだけです。

巨大なプロジェクトフォルダの .vs を次々に削除するのが苦痛だからです。

再度パス位置が間違いないか確認し、OK を押します。


```
C:\Windows\System32\cmd.exe

H:\CShapTest>del /dot vs .\
.\vs フォルダのみ削除

DIR [H:\CShapTest\vs]
削除Dir [H:\CShapTest\vs]
削除Dir [H:\CShapTest\vs\CShapTest]
削除Dir [H:\CShapTest\vs\CShapTest\v15]
削除Dir [H:\CShapTest\vs\CShapTest\v15\Server]
削除Dir [H:\CShapTest\vs\CShapTest\v15\Server\sqlite3]

=====
.\vs テンポラリ・ディレクトリ削除数 4
=====

H:\CShapTest>
```

774KB が 69.6KB バイトになりました

VC++ のプロジェクト (標準ウィザード作成 コンソール x64 リリース) ですと およそ 90M バイトが 1.7M バイトになります。(配布の都合上 VC++ プロジェクトは添付されていません)

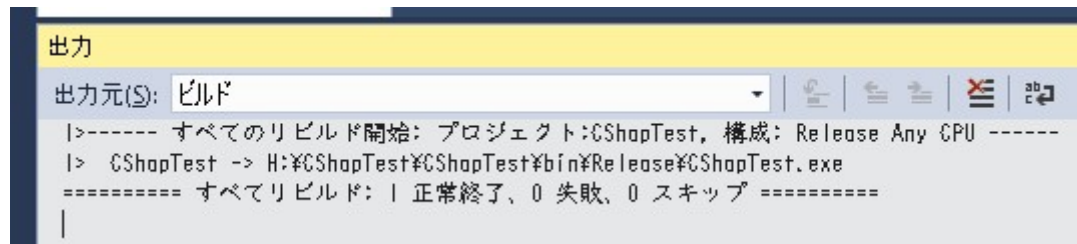


削除後にプロジェクトを開くと Release/ Any CPU だったのが Debug/Any CPU になっています。



Debug を Release に変更してビルドしなおします

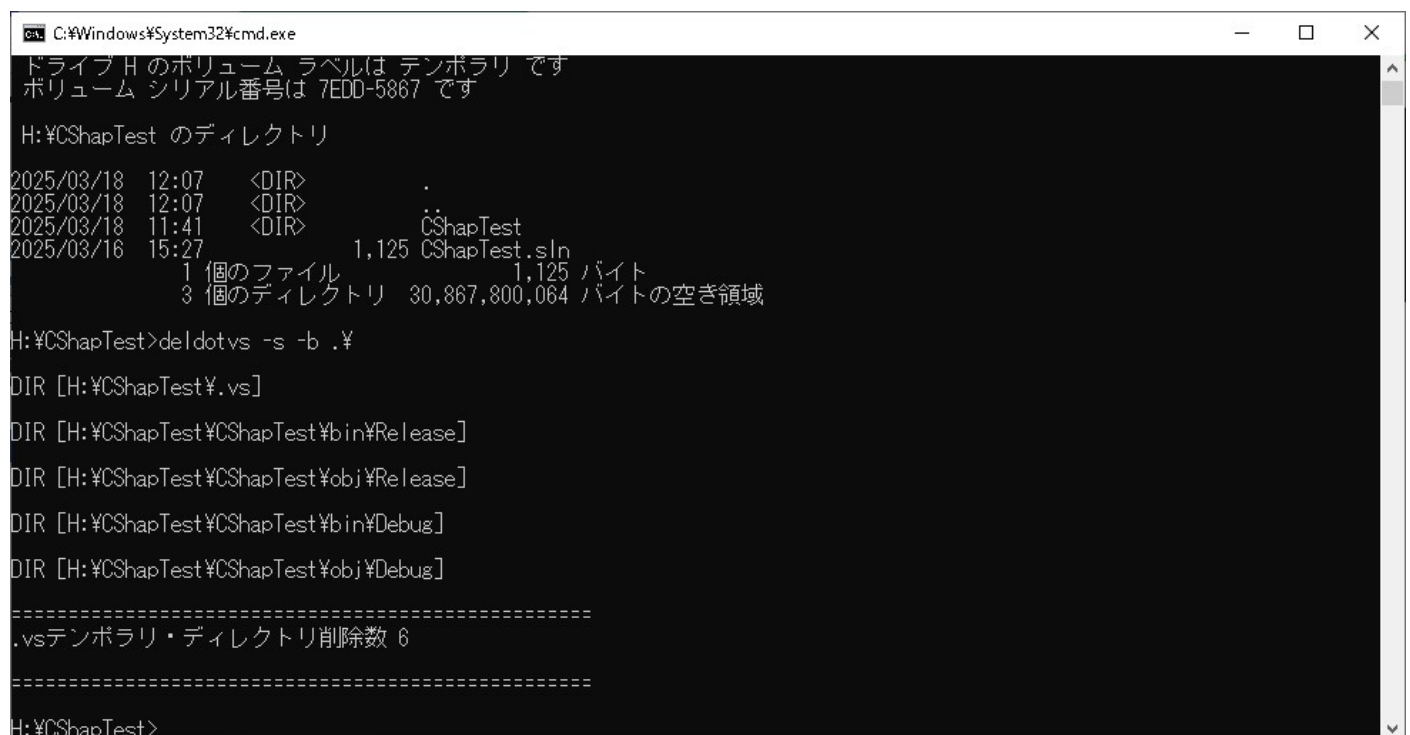
ビルドが成功しました



実行を確認しました C#のリリース exe 位置は CShapTest\CShapTest\bin\Release です



※再度テストプロジェクトをコピーしなおして、-s -b オプションも追加して確認してみてください



以上、開発のお役に立てれば大変うれしく思います。くれぐれも気を付けてご利用ください。ありがとうございました。